

## 無人駅の新たなスタイルを提案！！ 山陰線 阿川駅に行ってみて！

2019年10月29日  
西日本旅客鉄道株式会社  
広島支社

西日本旅客鉄道株式会社広島支社では、無人駅における新たなチャレンジとして、山陰線阿川駅にて地域の魅力発信に精力的な地元事業者様による店舗出店を決定いたしましたのでお知らせいたします。

地元事業者様による店舗は、老朽化していた駅待合室の新設に合わせて出店していただく予定です。角島や元乃隅神社などの周辺観光スポットにお越しの際の新たな立ち寄りスポットとして、地域の特産品の販売や、地元ならではの食材を活かしたカフェを出店します。その他、レンタサイクルもごございますので、列車でお越しの方にも気軽に周辺観光をお楽しみいただけます。

また、新設する駅待合室は、店舗のデザインに合わせることで駅全体の一体感が出るよう計画しています。

弊社と地元事業者様が協力して、地域に愛され魅力あふれる憩いの駅を目指す新たなチャレンジです！ぜひ、阿川駅にお越しくください。

### 1. 開設日

店舗：2020年3月頃（予定）

※新設する駅待合室は、先行して2019年12月中旬頃からご利用いただける予定です。

※工事の進捗状況により、時期は変更となる可能性がございます。

### 2. 場所

山陰線 阿川駅 敷地内

（駅住所：山口県下関市豊北町阿川水取3653）

### 3. 店舗事業者

株式会社 hase 代表取締役 塩満 直弘

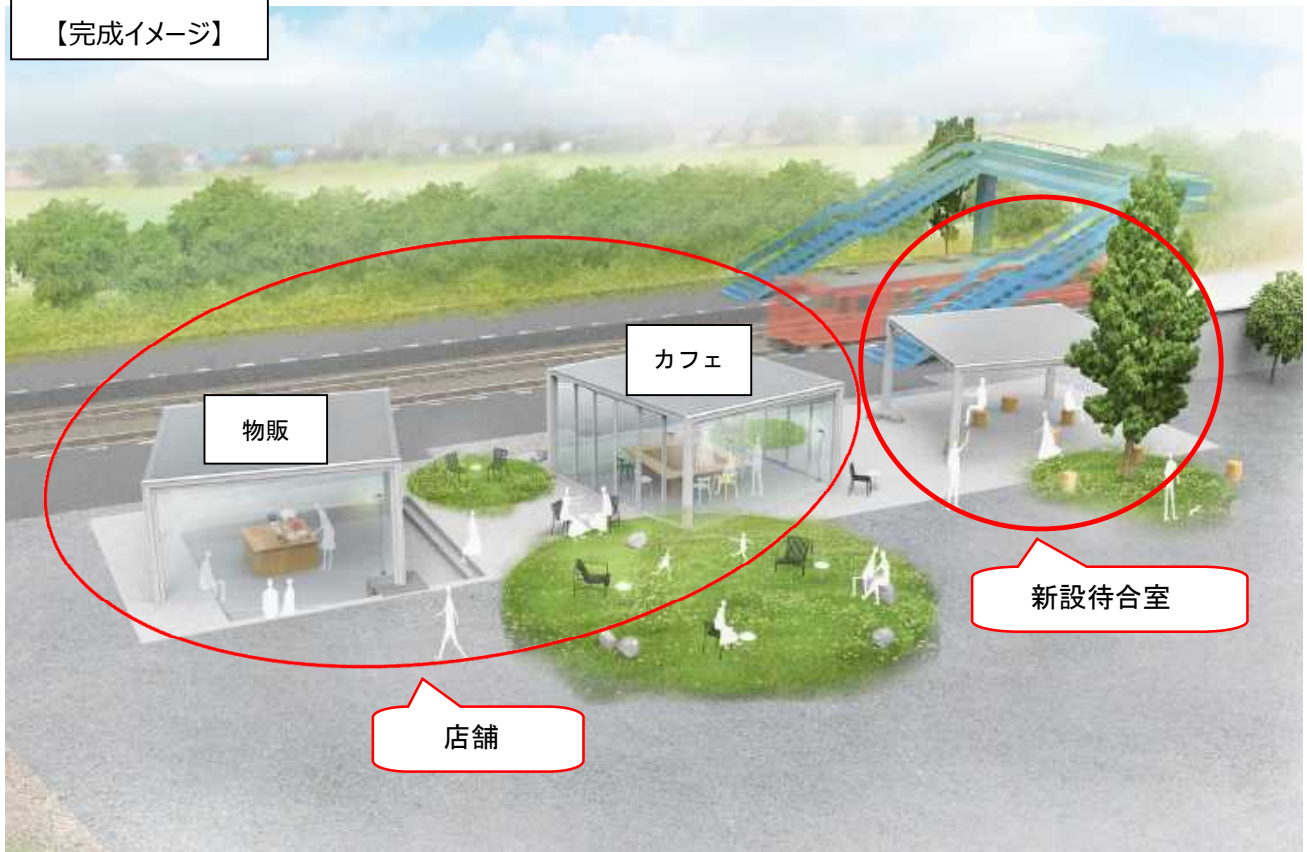
山口県萩市にて、萩市初のゲストハウス「ruco」を経営。山陰線沿線の土地の魅力を伝えたいとの思いから、阿川駅への出店を計画。

### 4. 店舗業種

カフェ・物販・レンタサイクル

※その他詳細につきましては、決まり次第別途お知らせいたします。ご期待ください！

【完成イメージ】



【参考：「てみて」ロゴマークについて】

JR 西日本広島支社から地域の方々に向けて鉄道

事業を基盤とした地域共生を提案する姿勢を、ロゴマークとキャッチフレーズで表現しました。



地域共生宣言

「temite（てみて）」は「～してみて」から生まれた言葉。



「列車を降りてみて」「駅に寄ってみて」「改札を抜けてみて」というように、鉄道を起点に地域へアプローチすることを提案。



「行ってみて」「来てみて」「着てみて」「食べてみて」「住んでみて」「会ってみて」「やってみて」「買ってみて」というように、地域を訪れること、地域の魅力ある衣食住やヒト・コト・モノとのふれあいや体験を提案。

さらにアルファベット表記した際の「te」と「mi」には以下のような意味も込めています。

te

tell…伝える  
teaching…教える  
team…仲間  
teamwork…共同作業  
tear…感動や喜びの涙 など

mi

miracle…奇跡  
million…たくさんの  
mission…使命  
mix…混ざりあう など